

審議会所掌外の意見について

1 人口減少対策・まちづくり

・この案を公表すること自体が青梅市のシティプロモーション上では大きなマイナスとなる。吉野、沢井、小曾木、成木からは学校をなくす案であり、青梅市に住居を移動することを考える可能性がある若者は学校への距離を気にするため、青梅市は教育行政に力を入れない市であると見られてしまい、青梅市全体としての児童・生徒数が想定よりも減少してしまうことにつながりかねないと心配している。

- ・青梅・東青梅・河辺を中心にまちを発展させるべき
- ・人口減少の専門家は審議会に入っているのか
- ・人口減少対策を
- ・地域交流衰退の懸念
- ・西部地区の人口減少への懸念
- ・人口が増えている、増えそうな地域への分厚い投資・支援を願う
- ・青梅の西部にもっと住宅が建てられるよう、環境を整えてほしい
- ・センターを中心に郷土愛等の醸成事業

2 跡地の利活用

- ・廃校の活用（地域活性化のシンボル）

3 防災拠点としての考え

- ・避難所機能としてのありかた

4 学童・こどもの居場所づくり

- ・今井小・藤橋小の学童については今井小の位置に残すべき
- ・学校以外の子どもの居場所づくり（学校がなくなっても）
- ・学童の検討
- ・放課後子供教室の検討

5 交通関係

- ・朝はスクールゾーンで車両進入禁止なのに無視して通る車が多すぎ
- ・児童・高齢者の移動方法（交通手段）
- ・通学にも利用できるコミュニティバスの導入

6 公共施設について

- ・旧第九小、第十小を早く解体してほしい
- ・公共施設（教育・福祉・防災）を縦割り行政でなく横割り行政で有効運営を期待

7 方針について

- ・「こどもまんなか」の中で教育委員会のビジョンはあるのか
- ・青梅市が、地域ごとにどのような特色があり、どのように地域づくりをしているのか。例え、小・中一貫校にすることにより、何を地域で作り上げるのか、何を実現していくのかをしっかりと考えて実現していく必要がある。

8 その他

- ・議員にも提示するのか
- ・審議会の答申が議会で認められなかった場合どうするのか
- ・東京都に対して青梅市への独自の編成基準を認めてもらうように上申
- ・合併によるコミュニティ・スクール協議会や青少年健全育成協議会、青少年委員協議会など地域に選任されてきた団体のことも考慮してほしい
- ・財政を圧迫するならそれを何とかするのが行政の仕事